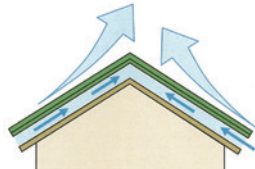


ガルバリウム⁺ハイフッ素のマックス瓦で いつまでも変わらぬ強く美しい屋根

「マックス瓦」は、ハイグレードめっき・亜鉛アルミ合金を施したガルバリウム⁺(プラス)鋼板に、塗装用ポリマーの理想形といわれる80%フッ素樹脂を塗装した製品。地震に強く通気性がよい理想的な屋根瓦で、施工も容易である。



施工例



換気がいいので結露を防ぎ、
屋根全体が長持ちする。

●高い換気性で結露を防ぐ

自然対流による通気を可能にした新技術「通気構造」により高い断熱効果、結露防止効果を得ることができる。また台風などの強風にも優れた効果を発揮する。

●軽量で建物全体への荷重負担が少ない

日本瓦 (150kg/坪) の1/6、カラーベストの1/2の軽さで住まいへの負担も少ない。また屋根が軽くなるので地震に対しても高い効果がある。



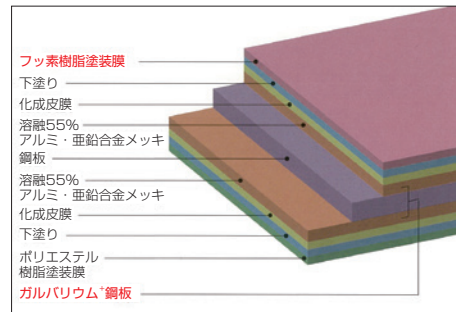
軽量なので短い期間で施工でき、工期中の
住み替えも不要。

●優れた耐久性・防水性

台風時における耐久性と高水密性が「建材試験センター」の実験で実証されている。

- ・耐風圧試験：-940kgf/m² (実風速120m/秒)
- ・水密性試験：風速45m/秒 (実風速90m/秒)

■マックス瓦の構造



【ガルバリウム⁺鋼板】

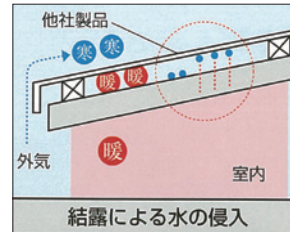
マックス瓦の基材に使用されるガルバリウム⁺鋼板は、アルミ55%と亜鉛43%による合金めっき鋼板。裸のままでも使用できるほどの高い耐蝕性・耐久性・耐熱性を誇る。特に耐蝕性は亜鉛めっき鋼板の数倍もあり、また750℃で10分間の燃焼試験に合格し、国土交通大臣認定の不燃材^{*}としても登録されている。 ※不燃材 認定番号：NM-8697

【フッ素樹脂塗装】

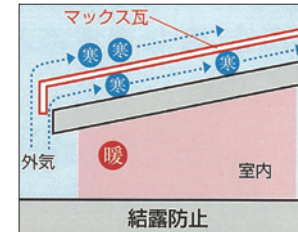
フッ素樹脂塗装は、科学的・物理的・機械的、さらに熱や光にも極めて安定しているため、耐候性・耐薬品性・耐蝕性・耐汚染性などほかの塗料に比べあらゆる面で優れている。マックス瓦は、フッ素含有率を80%に高めることでこれらの特性の強化を図っている。

■マックス瓦の技術と性能

◎結露防止効果

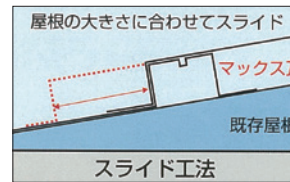


一般的な横桟木による施工では、結露が発生しやすく下地の腐食が心配。



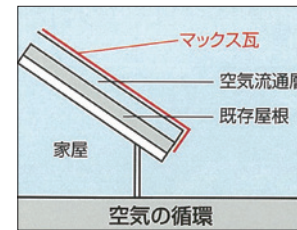
マックス瓦は縦桟木による施工なので、外気が流通でき結露が起こらない。

◎スライド工法



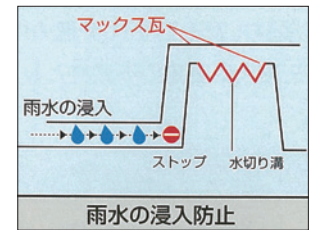
マックス瓦本体同士の重なる部分をスライドさせることによって、表側のパターンを等間隔に美しく葺きあげる。施工の自由度が高いため、あらゆる形状の屋根に施工できる。

◎熱貫流効果



施工の際に既存の屋根と間に空気流通層をつくるため、屋根裏の空気が循環し既存屋根下を外気温とほぼ同じに保つことができる。

◎毛細管現象防止効果



独自の形状により伝わってくる雨を阻止し、毛細管現象が原因となる雨漏りから大切な家屋を守る。

■自然災害(地震・台風・ゲリラ豪雨・竜巻)への備え

南北に長い日本列島では四季の温度変化も大きく、地震に加えて近年増加している大型台風やゲリラ豪雨、竜巻などの脅威は無視できない。軽量で耐久性のあるマックス瓦は、こうした過酷な自然環境や災害への備えに最適な屋根材である。



台風

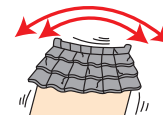
ゲリラ豪雨

竜巻

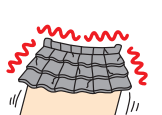
2つのタイプの地震動への対策

同じ震度の地震でも、地震波に含まれる周期の成分によって建物の被害は異なる。この2つのタイプの揺れ対策として、屋根材をできるだけ軽くすることは欠かせない。

①長周期タイプ：
建物全体が大きく揺れる。屋根材が重いと倒壊の危険性が大きくなる。



②短周期タイプ：
建物が小刻みに揺れる。屋根材が重いと屋根材落下の危険性が大きくなる。



問い合わせ先

マックス建材株式会社 ☎045-633-1351 <https://www.maxkenzai.co.jp/>